

# ATL 発症高危険群の同定と発症予防法開発を目指す研究

## 1. 研究の対象

2016年7月～2020年3月に当院血液腫瘍科を受診した患者様

## 2. 研究目的・方法

目的:本研究はHTLV-1キャリア(無症候の人と関連疾患の患者を含む)を対象とした疫学調査です。JSPFAD(HTLV-1感染者コホート共同研究班)では、本研究は成人T細胞白血病(ATL)の原因ウイルスであるHTLV-1の感染者(キャリア、ATLを発症していない人)たちのATLへの発症危険因子を明らかにして、発症予防法と新たな治療法開発することを目的とした研究を行っています。この目的のために、ATLおよびそれに関連した遺伝子の研究も行います。

方法:約20mLの血液を検査することで、感染しているウイルスの解析、ウイルスに感染した細胞の数や性質、ATL関連抗体、ATL関連物質、遺伝子変異、遺伝子多型等を解析致します。ATLになった人とならなかった人で調べて比較し、両者の間で頻度や量の差が大きいかを検討します。このことより、ATLの発生に関与する要因を見つけます。また、ATL患者さんの中で治療成績のよい方と悪い方で比較し、治療に役立terるといふ研究も予定しています。

研究実施期間:2016年7月5日～2020年3月31日

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料:血液(約20ml)

情報:診療情報、生年月日、検体番号等

## 4. 外部への試料・情報の提供・公表

提供:分析および解析機関へは共同研究医療機関の個人情報管理責任者が連結可能匿名化した状態で送付します。

対応表は、研究代表者が保管・管理します。

公表:バイオバンクジャパンとの統合的運用が行われる可能性がある。

## 5. 研究組織

聖マリアンナ医科大学大学院 先端医療開発学分野 渡邊 俊樹

JSPFAD(Joint Study on Predisposing Factors of ATL Development)参加施設 42機関

## 6. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。

この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

本研究の研究代表者：渡邊 俊樹

〒216-8512 神奈川県川崎市宮前区菅生 2-16-1

聖マリアンナ医科大学大学院 先端医療開発学分野

電話番号: 044-977-8111

当センターにおける研究責任者：南 陽介

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター 東病院 血液腫瘍科

電話番号: 04-7133-1111